

第二十五回帝國議會 新聞紙法案委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治四十二年三月十一日午後一時二十五分開議

出席委員左ノ如シ

三土 忠造君	大橋 賴模君	岩田 信君
坂本 元明君	後藤 文一郎君	高久 倉藏君
山際 敬雄君	木下 吉之丞君	福本 誠君
高橋 文質君	山田 珠一君	富田 幸次郎君
村松 恆一郎君	鈴木 力君	小橋 榮太郎君

出席政府委員左ノ如シ

司法省民刑局長 平沼騏一郎君

司法省參事官 豐島 直通君

○委員長(三土忠造君) 是カラ開會致シマス

○村松恆一郎君 本案ニ付キマシテハ段々御質問モアリマセウシ、又御意見モアルコト考ヘマスガ、ソレニ先立チマシテ一應本案提出ノ理由ヲ述ベテ置クコトガ或ハ御參考ニナルコトデアラウト思ヒマス、大略提出ノ理由ヲ説明シタイト考ヘマス、申スマデモナイノデアリマスガ、此新聞——現行新聞條例ハ隨分古イ時代ノモノデアリマス、其後ニ段々ニ作ラレタル法律デアリマスカラ、昔酷煩瑣ナル事柄ガ多カッタデアリマス、其後ニ段々改正サレマシテ幾分カ變更ハシテ居リマスガ、マダイロノナ營業者ニ不便ナ點モ少クナイノデアリマス、シテ是マデ屢々改正案モ出タノデアリマスガ餘リ通過ヲシナカッタ場合ガ多イノデアリマス、在昔今日マデヤハリ舊式ノ新聞紙條例存シテ居ル有様デアリマス、今日時勢ノ進歩ト共ニ大ニ改廢ヲシナケレバナラヌ處モアリマス、殊ニ新刑法ノ實施ト共ニ又其關係上改メナケレバナラヌ處モアリマス、殊ニ又總體ニ於テ新聞社會ノ非常ニ苦痛ヲ感ジテ居リマス、事柄モアリマス、此新聞紙法案ヲ提出シタノデアリマス、實ハ現行ノ條例ニ改正ヲ加ヘタダケデモ事實ニ於テ差支ナイヤウデアリマスケレドモ、現ニ此三大條例ト唱ヘテ居ッタ集會條例、出版條例等モ變テ、出版條例ハ出版法トナリ、集會條例ハ治安警察法トナッタト同ジヤウナ有様デアリマスカラ、是モヤハリ新聞紙法ト云フ新ナルモノトシテ提出致シマシタノデアリマス、此現行法ノ改正ヲ加ヘタ著明ナル點ヲザツト説明致シテ置キタイト思ヒマスガ、現行法ニ於キマシテハ單ニ新聞條例ト云フ名ノ下ニ通信ナリ又ハ定期ノ雜誌ナリハ、ヤハリ含蓄シテ居ッタデアリマスガ、併ナガラ其事實ニ於テハソレデ差支ハナイ、別ニ舉ゲナクテモ宜イノデアリマスガ、此法ヲ新ニ作ルニハ此コトヲ文字ニ現ハシタ方ガ宜カラウト云フノ第一條ヲ新ニ拵ヘマシテ、新聞紙雜誌ノ發行ヲ總テ本法ニ依ッテスルト云フノ此規定ヲ致シマシタ、ソレカラ此現行法ノ第一條即チ此本法ノ第二條デアリマス、此新聞紙雜誌デアリマスガ、之ヲ發行スル場合ニハ今マデハ二週間前ニ居出ルト云フコトニナツテ居リマスガ、是ナドハ實ニ唯以前ニ民論ヲ抑壓シタ時代ノ取締上ノ必要カラス様ナ長イ規定ヲ設ケタモノデアラウト思ヒマスケレドモ、

今日ハ既ニ通信機關ガ完備シテ居リマスカラ、サウ長イ前カラ居出ルト云フ必要ハナカラウト思ヒテ居リマス、現ニ出版法ノ如キハ發行二日前ト云フコトニナツテ居リマスカラ、ヤハリ新聞雜誌ニ於キマシテモ發行ノ日カラ到達スベキ日數ヲ除イタ二日前ニ居出ルト云フ規定ニ致シマシタ、ソレカラ此法案第六條ニ於テ「發行ノ居出ヲナシタル日又ハ發行休止ノ日ヨリ六ヶ月ヲ過キテ發行セサルキハ其居出ノ効力ヲ失フ」ト云フ規定ガシデアリマスガ、是ナドハ現行法ハ僅ニ五十日ト云フコトニナツテ居ルガ、是ハ五十日ノ中ニ一遍發行シテ納本居出ラシテ、サウシテ置カヌト云フト非常煩瑣ナル點ガ起ルデアリマシテ一回ノ屆書ヲ出シテ休刊シタトカ、發行中デアッタ場合休刊シタ時ハ已ムヲ得ナイ事情ガアルノデアリマスカラ、五十日ト云フコトハ甚ダヒドイ、依ッテ此法案ハ六ヶ月ト云フコトニ致シマシタ、ソレヲ出版法ト比較シテ見ルト出版法ニ依ル雜誌ハ十二ヶ月ノ効力ヲ持ッテ居ル、十二ヶ月トシテモ宜イノデアリマスケレドモ、餘リ長ウゴザイマスカラ新聞ノ方ハ先ヅ六ヶ月ト致シマシタ、ソレカラ第十四條ニ於テ新聞紙雜誌ニ記載シタル事項ノ錯誤ニ付、其事項ニ關スル當人又ハ直接關係者ヨリ正誤又ハ正誤書辯駁書ノ掲載ヲ求メタルキハ掲載ナケレバナラヌト云フコトガ、現行法ニモアリマスガ、現行法ハ全文ノ掲載ヲ請求セラレテ其掲載シタ場合ニ若シ全文ノ一倍超過シタ時ニハ其社定メタトコロノ廣告料ヲ請求スルコトニナツテ居リマスガ、是ハ不當デアラウト思ヒマスカラ全文ノ字數ニ超過シタ場合ニハ掲載料ヲ請求スルコトニシマシタ、一應新聞ニ掲載スルコトハ營業者ニ取ッテ迷惑ナ事柄デアリマス、寧ろ營業者トシテハ無クシタイノデアリマスガ、併シナガラ書カレタ方ノ身ニ取ッテハ間違ッタコトヲ記載サレタハ氣ノ毒デアリマスカラ斯ウシマシタ、ソレカラ現行法ノ第十六條ニ於テ「重罪輕罪ノ豫審ニ關スル事項ハ公判ニ附セサル以前ニ於テ之ヲ記載スルコトヲ得ス傍聽ヲ禁シタル訴訟ニ關スル事項ハ之ヲ記載スルコトヲ得ス」斯ウ云フコトガアル、是ハ實ニ今回本案ヲ提出シタ骨子ニナツテ居リマス、此法案ニハ之ヲ全部削除シマシタ、ト云フモノハ從來重罪輕罪ノ豫審ニ關スル事項ハ豫審ノ内容ト云フコトニ解釋セラレテ居ッタ、即チ豫審ヲ取調ベタコト、カ豫審ニ於テ答辯シタコトハ記載スルコトハ出來ナイ、同ジ豫審ニ附セラレテ居ッテモ其新聞ガ勝手ニ探訪シテ書イタコトハ今マデ不問ニ附セラレタ、是マデ大審院ノ判決例ニモ明ニ範圍ヲ示シテ居ルニモ拘ラズ、地方裁判所ノ檢事ハ豫審ニ附セラレテ居ル事項アツタナラバ如何ナル事デモ現行法ノ第十六條ノ規定ニ依ルモノデアルト云フ解釋ヲ取ッテ、現在東京ノ重ナル新聞ガ十四社モ告發ヲ受ケテ居ルノミナラズ、引續キ他ノ事件ニモ告發ヲ受ケテ居ルト云フ有様デアリマス、解釋ニスルト大審院ノ判決例ハ殆ド何等ノ效モナイ有様デアリマス、御承知ノ如ク新聞紙ニ起ル事件ト云フモノハ即チ社會ノ出來事デアッテ、社會ノ出來事ノ大部分ハ警察ノコト裁判ニ關スルコトデアリマスカラ、其事柄ヲ少シデモ書ケバ直チニソレガ豫審ニ關スル事項ト云フコトデ一々制裁ヲ加ヘルコトニシタナラバ、殆ド新聞ト云フモノガ其職責ヲ盡スコトガ出來ナイ、是ハ非常ニ不便ナルノミナラズ社會ノ上カラ考ヘテ見デモ非常ニ不都合ナル譯デアリマス、現在斯ノ如キ不都合ナル解釋ガ事實ニ

於テ取ラレテ頻々告發ヲ受クルト云フコトハ不安ナルコトデアリマスカラ、全部削除ヲシタ
方ガ宜カラウト云フコトデ當業者ノ意見ヲ徵シマシテ、サウシマスト豫審
調書ノコトヲ書イタ時ハドウデアルカ、或ハ又傍聴ヲ禁シタ裁判ノコトハドウデアルカト云
フ疑ガ起ルカモ知レマセヌガ、ソレハ第十八條ニ公ニセザル官ノ文書ト云フコトガアリマス
カラ此中ニ含マレテ居ルノ十分取締ガ付ク、ソレカラ傍聴ヲ禁シタ裁判ノコトハ十八條
ノ二項ニ字ヲ落シタデアリマス、今日正誤スル譯ニ往キマセヌカラアトテ修正ノ形ヲ以テ
加ヘマスガ、即チ「官廳ノ議事及法律ニ依リ傍聴ヲ禁シタル裁判又ハ「トスル」裁判又ハ「
ト云フ四字ヲ入レマス、ソレカラ第二十一條デアリマスガ、現行法ノ第二十三條第二項
ニ裁判所ハ犯罪ノ情狀ニ依リ第二十二條ノ禁令ヲ犯シ又ハ第三十二條及第三十
三條ヲ犯シタル新聞紙ノ發行ヲ禁止スルコトヲ得」ト云フコトガアルデアリマスガ本案ヲ
ハ削除シマシタ、既ニ第二十一條ノ第一項ニ於キマシテ內務大臣ハ其新聞ノ發賣頒布
ヲ停止スルコトモ出來ルシ、ソレヲ差押ヘルコトモ出來ル規定ガアリマスカラ、ソレ十分
取締ノ途ハ立ツコトデアラウト思ヒマス、ソレデ之ヲ削除シマシタ、ソレカラ現行法ノ第二
十七條ガ此法案ノ第二十四條ニ當リマスノデ、現行法第二十七條ノ第二項、是ガ新
聞ノ發行ニ關スル居出ヲ爲スニ當ッテ其實ヲ以テセザルトキハ發行人ヲ一月以上六月
以下ノ輕禁錮ニ處スルト云フコトガアルガ、今日ノ場合居出ニ實ヲ以テセザルト云フモノ
ハ殆ド無イト思ヒマス、何故斯ウ云フ規定ガアルカト云フト、隨分民論抑壓ノ時代ニハイ
ロイロ政府ノ抑壓ヲ避ケンガタメニ、或ル場合ニハ居出ニ殊更ニ不實ヲ以テスルコトガア
ルカモ知レヌト云フ虞ヲ以テ、斯ウ云フ規定ヲシタノモアリマセウガ、今日實際新聞ヲ發
行シヤウト云フニ實ヲ以テセザルト云フ者ハ、恐ラクハアルマイト思ヒマス、併シ或ハ全ク無
イトモ限ラナイカラ多少ノ制限ハ附ケテ置イテモ宜イガ、ソレガタメニ體刑マデヤル必要ハ
ナイト思ヒマスノデ、之モヤハリ體刑ヲ削リマシテ單ニ罰金ノミヲ取ルト云フコトニシマシタ、
ソレカラ現行法ノ第三十五條ニ「此條例ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ自首減輕再犯加重
數罪俱發ノ例ヲ用ヒス」ト云フコトガアル、是ハ改正ノ刑法ニ依ッテ見マスト殊更ニ斯ウ
云フコトヲ置ク必要ガナイト思ヒマスカラ、削除ヲ致シマシタ、先ヅ大體現行法ト變タノ
ハ是ガケデアリマス、ソレデ實ハ本案ヲ提出致シマスニ付テノ來歴ヲ申シマスト前年來全
國記者大會ヲ開イタ時分ニ體刑ハ全部排除スルト云フコトノ決議ガ出來テ居ッデ、其
當時ヤハリ改正案ヲ出スノデアッタガ、イロノノ事情カラ、ツイソレナリニナッテ居ッタノデ
ス、體刑ハ全部削除シタノデ、又此箇條ノ中ニモ例ハ十八條ノ公ニセザル官ノ文書
及上書建白請願書ハ當該官廳ノ許可ヲ得ルニ非ラサレバ詳略ニ拘ラス之ヲ記載スルコ
トヲ得ス」ソレカラ「官廳ノ議事及法律ニ依リ傍聴ヲ禁シタル公會ノ議事ハ詳略ニ拘ラ
ス之ヲ記載スルコトヲ得ス」ト云フヤウナコトモ今日デハ實際ニ行ハレテ居ラヌコトデアリマ
スカラ之ヲ削リタイ、尙其他ニモイロノ改正ヲ加ヘタイ點ガアリマスガ、サウ今一時ニス
ルト假リニ一院ヲ通過シテモ一院ヲ通過シナイト云フコトニナルト、全部徒勞ニ屬スルカ
ラ先ヅ主ナル「豫審ニ關スル事項云々」ト云フダケノ削除ノ目的ヲ達シテモ當業者ノタメ
ニ非常ナ便利デアリマスノデ、其他ハ大概犧牲ニ供シテ是非通過サセタイト云フ
精神カラ誠ニ改正シタイト云フ箇條ノ中ノ最上限ヲ存シタデアリマスカラ、ドウカ本案
ハ是非委員會本會共ニ通過スルヤウニ願ヒタイ、尙修正ノ御意見モアリマセウカラ、ソレ

ハ十分ニ如何ニモ願ヒタイ
○大橋賴模君 私ハ提出者ニ質問シタイデアリマス、提出書ノ全体ヲ考ヘテ見ルト
現行法ト敢テ異ナルノ條項ガ少イ、其中最モ新聞ノ記事ニ屬シタルコトガ改正案ニハ出
テ居ル、又或ル條項ニ付テハ現行法ヨリモ一層處罰ヲ重クサレタト云フ嫌モアリマスレバ、
先ヅ各條項ニ付テハ私ノ修正意見モ持ッテ居リマスガ、第一ニ質問シタイノハ提出者ノ
言ハル、如ク社會ノ進運ニ伴ッテ此改正ノ必要ガアルト、果シテ然ラバ今日現行法ニア
ル即チ保證金デアリマス、保證金ハ東京ハ千圓、京都、大阪、神戸、長崎ハ七百圓、其
他ノ地方ハ三百五十圓トナッテ居ル、是ハ新聞法ヲ制定シタル當時ニハ左様デアッタデ
ザイマセウ、併ナガラ今日實際ハ東京ト大阪トハ新聞ノ經營ノ上ニ何等異ナルコロハナ
イ、就中京都ノ如キ長崎ノ如キヲ謂ハシ第二等ニ置イタルガ、今日ニ於テハ京都ノ如
キハ大阪ノ新聞ニ壓倒サレ、長崎ノ如キモ私ガ露骨ヲ申セバ、今日ハ地方ノ新聞トシテ
モ微々トシテ振ハナイ、斯様ナモノヲ依然トシテ此經營地ヲ現行ノ通り保存シテ居ル其
理由如何、ソレカラ第二問ニ當ッテ現行法ニ於テハ一月三回以下發刊スルモノハ前記
保證金ノ半額デアッタ然ルニ今回ハ雜誌ヲ發刊スルモノマデモ同様ノ額ニ上ゲ、即チ東
京ガ千圓京都其他ハ七百圓、其他ノ地方ガ三百五十圓トシテ、日刊新聞ト同様ニ改
メタ、即チ此保證金ヲ増シタノハ何等ノ理由カ、又現行法ニ於テハ是ダケノ區別ノアルノ
ガ相當デアルニモ拘ラス、之ヲ削リ去ッテ日刊新聞ト同様ニ改メルト云フコトハ甚ダ經營
者ニ取ッテ困ル問題デアルト思フ、之ヲ殊更ニ削ッテ理由如何、第三問ニ於テハ現行法
ノ第十六條ノ「重罪輕罪云々」是ハ意見ニ屬シテ其但書ヲ削ッタコトヲ御問致サウト思
ヒマシタガ、ソレハ十八條ニ修正ヲ加ヘルト云フ御意見ナラバ但書ヲ保存スル精神ト看
做シテ暫ク措キマスガ、尙更ニ三問トシテ問ハントスルノハ現行法デハ五百圓以上百圓以
下ノ罰金或ハ二十圓以上三百圓ノ罰金ト云フヲ、今回ハ最下ヲ削ッテ凡テ百圓以
下「三百圓以下」斯ウ云フコトニシタ、是マデ裁判ノ例ニ依リマスト新聞社ト云フモノハ全
ク公益ノタメニ惡意ニアラザル以上ハ先ヅ最下級ノ五圓、二十圓ト云フ極度ヲ超ヘナイ
程度ニ於テ裁判ヲ與ヘマシタ、或ハ百圓若クハ二百圓以下ノ裁判ヲ受ケタコトハ事實ニ
於テ是マデ無イト思フ、然ルニ今回ハ「以下」トスレバ一圓マデハ「以下」ニナルヤウナ譯デ
アル、ケレドモ斯様ニスルト裁判官ノ手心ニアルトハ云フモノ、事實ニシテ罰金刑ガ殖エヤ
セヌカト思フ、「百圓以下」デアレバ、マサカ一圓ニモ減シラレナイカラ或ハ二十圓トカ五十
圓トカニナル、サウスルト此改正法案ハ其最低度ヲ削ッタメニ罰金刑ガ殖エヤセヌカト
思フ、成程裁判官ガ活眼ヲ以テ裁判ヲスレバ格別、兎ニ角是マデノ慣例トシテハ新聞社
ニ付テハ何レモ其情狀ニ於テ惡意ニアラザルタメニ全ク公益ノタメニ書イタモノトスレバ、
最低度ノ裁判ヲ受ケテ居ッタノデアル、斯様ニスルト私ハ罰金刑ガ上リハシナイカト云フ嫌
ガアル、ソレカラ第四問ニ於テ提出者ニ最モ問ハントスル處ハ、此案ノ第二十九條「皇室
ノ尊嚴ヲ冒瀆シ政體ヲ變壞シ又ハ朝憲ヲ紊亂セムトスルノ論說ヲ記載シタルトキハ發行
人編輯人印刷人ヲ二月以上二年以下ノ禁錮ニ處シ又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス」ト
アル、サウシテ此三十條ニ「社會ノ秩序又ハ風俗ヲ壞亂スル事項ヲ記載シタルトキハ發
行人編輯人ヲ二月以上二年以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス」トアッテ、發
行人編輯人ヲヤハリ同様ノ罪ニ處ストアルケレドモ、現行ノ法ニ於テハ此三十條ナルモノ

ハ一月以上六月以下ノ禁錮ニナッテ居ルノデアリマス、而モ此風俗ヲ壞亂シタ罪ト政體ノ變壞ヲスルトカ朝廷ヲ紊亂シタル罪ト同罪ニシテ、之ヲ殊更ニ風俗ヲ壞亂シタ罪ヲ二月以上二年以下ト云フ重刑ヲ加ヘルト云フコトニ改正ヲシタル事柄ハ提出者ハ體刑マデモ全部廢シタイト云フ意思ヲ今説明シテ居ルニモ拘ハラズ、斯ノ如キ現行法ヨリモマダ重イトコロノ刑ヲ處セントスルト云フ事柄ハ其提出ノ理由如何、私ハ大體此四問ト其外ニモ各條ニ於テハアリマスルガ、是ハ微々タルモノデアラカ申シマセヌガ、是ハドウ云フ譯テ殊更ニ重刑ヲ科シテ新聞社ニ提出者ノ今言ハレル如キ精神ヲ沒却シテ一層ノ重刑ニ處セラレノデアラカ、其理由ヲ承リタイ

○村松恆一郎君 御答ヲ致シマスガ、第一ノ御尋ノ保證金ノコトハ實ハ一方カラ言論自由ノ精神カラ申シマスレバ、斯ノ如キコトヲ存シテ置クト云フハ宜シクナイト云フ議論モアリマスルガ、又其他ノ一方カラ考ヘテ見マスルト保證金ト云フモノガ全ク無クナルト云フコトニナルト、隨分唯ホシノ永久ニ繼續スル目的モナクシテ唯一時ノ或ハソレモ正當ノ目的デナイ事柄ニ使フヤウナコトノタメニ、隨分イロ／＼ナ新聞雜誌が起ルト云フ弊モ起ルデアラウ、現在保證金ガアッテサヘモ隨分中ニハ眞ニ社會ノタメニスルトカ、國家ノタメニスルトカ云フコトデナクシテ、或ハ卑劣ノ目的ノタメニ新聞ヲ發行シ、雜誌ヲ發行スルト云フコトガ隨分事實ニ於テアルノデアリマスルガ、ヤハリ多少ノ此處ニ保證金ヲ存シテ置イタ方が宜カラウト云フ議論モアリマスルガ、ヤハリ現行法ノ儘ニシテ置イタノデアリマスガ、實際言ヒマスト斯ウ云フ保證金ヲ定メラレタル時分ト今日トハ通貨ノ價值ノ割合ナドモ餘程變遷シ居リマスノデ、若シ是ガ實際物價ナドノ關係カラ申シマスレバ千圓ノモノヲ二千圓ニモ三千圓ニモシテ宜シイト云フ譯ニナリマスルケレドモ、ソレハ差措イテ宜カラウ、ヤハリ現在ノ儘ニシテ置イテ宜カラウト云フノデ此儘ニシテ置キマシタ、ソレカラ雜誌ノコトハ少シ日刊ノ物トハ釣合ガ取レナイヤウデアリマスルケレドモ、既ニ雜誌ニモシロ、新聞ニモシロ、之ヲ發行スル場合ニ於テハ成程ソレニ日刊ト定期ト雜誌トニ於テハ其及ブ効力モ違フカモ知レマセヌケレドモ、ヤハリ保證トシテ金ヲ納メサセル場合ニ於テ金額ノ區別マデモ付ケル必要ハナカラウト思ッテハ削ッタルデアリマスガ、併シ是ハ御意見ニ依リマシテ私ハドチラデモ強テハ主張シナイ、或ハ保證金ハ全部削除シテモ異議ハナイノデアリマスルガ、唯今申シタヤウナ關係カラ先ヅ其儘ニシテ置イタ宜カラウト云フノデアリマスルガ、方ハ現在ノ儘ニシテ、サウシテ雜誌モヤハリ是ト同一ニシタ、所ガ其雜誌ヲ今日ニ於テ經營シヤウト云フノハ昔ノヤウニ書生ガ唯下宿屋ノ隅ニ居ッテ發行スルト云フ譯ニ往キマセヌ、相應ノ資本ヲ備ヘ相應ノ設備ヲ備ヘナケレバ出來ナイノデアリマスルガ、其場合ニ二百五十圓トカ七百圓納メルト云フコトハ、サノミ苦痛デハナイノデアリマスルガ、是總テ同等ニ致シマシタ、ソレカラ第三ニ此罰金ヲ最高額ヲ定メテ最低額ヲ定メナイノハドウ云フ譯カト云フ御尋デアリマスガ、是ハ私ハ寧ロ最低額ハ定メズシテ其情狀ニ依ッテ裁判官ノ考ニ依ッテ罰金ヲ科スルト云フ方が却テ宜クハナイカト云フ考カラ、最低額ヲ削ッタルデアリマシテ今回ノ刑法ニシテモ罰金ナドニ付テモ其他ノ刑ト成ルベク範圍ヲ廣ク、適用ヲ廣クスルトコトニナッテ居リマス、是モ百圓以下トシテアツタカラト云フテ必ズ百圓科スル譯ノモノデモナシ、即チソレハ罪狀ニ依リ――罪質ニ依ッテ適用ノ途モアルノデアリマスルガ、寧ロ範圍ヲ廣クシタ方が宜カラウト云フ考ヘカラ最低額ヲ削ッタルデアリマス

ス、ソレカラ此第二十條ノ御尋デアリマスルガ、是ハ實ハ最初之ヲ起草シマシタキノ筆記ノ錯誤デアリマシテ、是ハヤハリ一月以上ト云フ精神デアリマスノデ、是ハ後テ修正ヲ致ス譯デアリマスルガ、左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○大橋賴煥君 唯今提出者ハ甚ダ疎漏ナルコトヲ申サレマシタガ、兎ニ角苟モ法律案トシテ出シタルモノヲ是ハ錯誤デアッタト云フ御話デアアルガ、苟モ此法律案ヲ出スノニ錯誤ナドト云フ事柄ヲ以テスルノハ怪カラヌコトと思フ、甚ダ慎重ノ調査ヲ要シテ居ラヌモノト思ヒマス、私ハ此條目ガ出ルト同時ニ此改正ノ趣意ガ分ラヌト斯ウ思ッタルデアリマス、此處ニナッテ是ガ錯誤ト云フコトデアアルナラバ一ツ是ハ大ニ改メテ問ハントスル、苟モ此條例ヲ出シテ既ニ委員付託ニナッテ居ルモノニ錯誤ガアルヤウナコトデアッテハ吾々ハ甚ダ議論スル上ニ付テ差支ヘル譯デアリマス、左様ナ不完全ナモノヲ此議會ニ出スト云フコトハナイ筈デアラウト思ヒマス、錯誤ト云フコトハ今日私ハ言フベキコトデハナイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ第一問ノ私ノ問ハントシタコロノ要旨ヲ失ッテ居ル、此政府ガ制定シタ當時ニハ此東京市、大阪其他ト斯ウ別ケテアツタ此時ノ狀況デアアル、然ルニ提出者自ラ言ハレル如ク社會ノ進運ニ伴フテ之ヲ改正スルノ必要ガアルト云フ、社會ノ進運ニ伴フテ即チ現在ノ狀態ニ於テ此改正ヲスル必要ガ起キテ來タニ違ヒナイ、シテ見レバ今日京都ノ如キ長崎ノ如キモノハ實ニ新聞ノ經營トシテハ微々トシテ振ハナイ地デアアル、モットソレヨリハ或ハ北海道ノ如キ又東北ニ於ケル必要ナ地デアアル、又東海ニ於ケル必要ナ地デアアル、現在ノ發行紙數ノ上ニ於テモ亦現在ノ勢力範圍ニ於テ十分認メラレルコトガアルデアアル、私ハ思フニ此案ト云フモノハ失禮ダガ記者先生ガヤッタデアッテ經營ト云フコトノ頭ガ乏シイタメニスウ云フ事情ヲ御承知ガナクシテ拵ヘタモノデアラウト思ヒマス、苟モ社會ノ進運ニ伴フテヤルナラバ十年モ十五年モ前ニ定メタルトコロノ東京市ト次ニ大阪ト云フモノノ、今日ノ新聞ノ經營ニ於テハ寧ロ大阪ノ方が新聞ノ經營ニ於テハ優等デアルケレドモ、是ハ東京ト別ケル譯ニモ往キマスマイガ、京都ノ如キ長崎ノ如キ所ハ今日新聞ノ經營トシテハ失禮ナガラモウ二等四等地ニ居リマスル次第デアアル、ソレヲ現在ノ儘ニシテ此保證金ヲ斯ノ如クシテ置イタト云フモノハ何故之ヲ改正ヲスルコトヲ見出サナンドデアアルカ、斯ウ云フコトヲ私ハ問フデアアル、ソレカラ其次ニ雜誌デアアル、雜誌ト云フモノハ提出者ノ言ハレル立派ナル雜誌デアアル、月ニ何回ト定メテ今日發刊シテ居ルモノガアル、ソレデ實ハ文藝ニ屬シテ居ルモノデアラナラバデス、ソレハ此通り保證金ハ要ラヌ、併ナガラ少シデモ時事ノ問題ヲ書クト云フト、ソレハ政治上ニ涉ルモノトシテ相當ノ保證金ヲ納メナケレバナラヌ、デ目的ハ文學其他ニアッテモ其文學ノコトデモ其當時ノコトヲ論ズルト政治ニ涉ルカラ是ハ保證金ヲ納メナケレバナラヌコトニナル、全ク日刊新聞ノ如ク政治ヲ目的トスルノデナイ、或ル目的ノタメデアアルケレドモ勢ヒ其時事ヲ論ズルトヤハリ新聞紙條例ニ依ッテ出サナケレバナラヌガ、然ルニ其モノト同等ニ看做シテ保證金ヲ同一ニシタコトハドウデス、私ハ保證金ノ多寡ヲ言フノデハナイ、權衡ヲ失ッテ居ナイカト斯ウ云フコトヲ言フノデアリマス

○村松恆一郎君 大分御意見ニ涉ルヤウデスガ、折角ノ御尋ネデスカラ申上ゲマス、唯今ノ錯誤ト云フタメニ御答メガアリマシタガ如何ニモ粗漏デアッタヤウデスガ、是ハ起草ノ錯誤ノ意味デハナイノデ、詰リ印刷ノ錯誤ト云フ意味デ私ハ申上ゲタノデアリマス、併シ

何レニシテモ粗漏ハ粗漏デアリマスガ、精神ハ左様ナ譯デスカラ御承知下サルヤウ——ツレカラ保證金ニ付テ長崎京都ノ如キハ大阪ヨリ下ルトノ御説デスガ、之ヲ百圓二百圓違ヘタトコロダ苦痛ト云フ譯デモナケレバ、困難デモナイト思ヒマス、成程大阪ト京都若シクハ長崎ト比ベテハ新聞經營上カラ言ヘバ違ヒマスガ、併ナガラ更ニモウ一階級ヲ置イテ區別ヲ立テル程ノ必要ハナイト思フツレデ全部七百圓トシタデアリマス、ツレカラ雜誌モ成程權衡ハ失ヒマスガ元ト保證金ノ性質ハ此法律ニ對シテノ詰リ責任ノタメニ納メサストコロノ金デアリマスカラ、唯定期ニ三回發行スルカラトカ日刊デアルトカ云フコトハ左程區別スル必要ハナイト思ヒマス、殊ニ唯今申シマシタ通り雜誌デモ經營シヨウト云フナラハ百圓二百圓ノ保證金ハドツチニシテモ苦痛ヲ感ズル人ハナイト思ヒマス、併ナガラ若シツレガ權衡ヲ失ッテ居ルト云フデアリマスナラバ修正ハ御勝手ニ願ヒタイデアリマス

○高久倉藏君 本員ハ提出者及大橋君ノ意見ヲ承ハッテ大ニ得ルトコロガアリマシタ、本員ハ大体此提出案ニ同意ヲスル者デアリマスガ、一應政府ノ所見ヲ聽キタイと思ヒマス

○政府委員(有松英義君) 新聞紙條例ハ唯今村松君カラ御述ベノ通り制定以來年子ヲ經ルコト久シクナッテ居ルタメニ、多少ノ修正ヲ加ヘテモ然ルベキ點ガアルト考ヘマスガ、併ナガラ今回提出ニナリマシタ本案ニ付キマシテハ遺憾ナガラ大體ニ於テ未ダ御同意シ兼ネルノデゴザイマス、提出者タル村松君ハ逐條ノ御説明ガゴザイマシタガ、私ハ單ニ大體ニ於テ政府ノ同意シカネル意見ヲ申述ベデ置カウト考ヘマス、併ナガラ一例トシテ一二ノ點ヲ試ミニ舉ゲマスル例ヘバ發行屆ノ期限ヲ三日以前ニシタラ宜カラウ、是ハ出版法ノ規定モ同一デアルト云フ御説デスガ、出版法ハ三日ト相成ッテ居リマス、併ナガラ出版ノ方ハ發行所カラ直接ニ內務省ヘ送附スルカラ三日デ宜シイガ、本案ハ中央管轄廳ヲ經ルコトニナッテ居リマス、然ルニ拘ハラズ直送ヲスルモノト同一ニ三日トスルト云フコトハ到底同意出來ヌノデゴザイマス、或ハ又他ノ小サナ例ヲ舉ゲマスレバ刑法改正ニ伴ハル、御改正モアルヤウニ認メマス、例ヘバ公權剝奪若クハ公權停止ナドハ今日ノ刑法ニ規定シテアリマセヌニ拘ハラズ、ヤハリ新タニ御提出ニナル法案ニ之ヲ御掲載ニナッテ居ルヤウナ點ガアリマス、デ左様ナ點ヲ申シマスレバ多クアリマスガ、暫ク必要ナ場合ニ申述ブルコト、致シマシテ、唯今ハ省略シテ置キマスガ、提案者ノ御述ベニナリマシタコロノ所謂骨子ト稱セラレテ居リマスル條項即チ第十六條ノ事項ヲ本案第十八條ニ包含セシムルガ如キハ最モ取締上差支ヲ感ジマスルノデゴザイマス、提案者ハ第十八條ガアレバ足ルト云フ御意見デアリマシテ、第十八條第二項ニ於テ「裁判又ハ」ト云文字ハ斜奪シタト云フ御説明デゴザイマス、假リニサウトシテ——斯ノ通り御修正ニナルトシテサウシテ其結果如何相成ルト考ヘマスルト、裁判ノ議事ト云フ文字ニナリマスガ、是ハ果シテドウ云フ意義ヲ有シテ居ルカト云フニ付テ解釋ニ苦シマスガ、斯ヤウナ御修正ハ實際ニ適用スル場合ニ於テ不備ヲ感ジ、隨ッテ適用ヲ受ケナイコトニ相成ラウト考ヘマス、或ハ裁判上ノ合議ノトキノコトヲ御指シニナッテ居ルカモ知レマセヌガ、政府ハ獨リ合議議事ヲ新聞ニ記載スルコトヲ止メマシタノミデアリマセヌノデス、豫審ニ關スルコトハ總テ新聞紙ニ掲載セシメザル必要ガゴザイマスノデ然ラザレバ刑事裁判ノ進歩ヲ大ニ妨ゲマスタメニ

犯罪ノ檢舉ガ困難ニナリマスルコトニナルデアラウト考ヘマス、此點ニ付キマシテハ詳細ハ司法省ノ政府委員カラ御意見モ出ルコトデアラウト考ヘマスルガ、內務省ト致シマシテモ斯様ナ改正ニ御同意致シ兼ネルノデアリマス、又主ナ條項デ申述ベマルト、第二十一條即チ現行第二十三條第二項ノ削除デゴザイマスルガ、是ハ新聞紙ニ記載致シマスル事項ガ、現行法ノ第二十條第二十二條第二十三條ニ關シ、告發致シマシタ場合ニ內務大臣ハ即時其紙面ダケノ發賣頒布ヲ停止シ、且差押ヘルコトガ出來ルノデゴザイマスガ、實際ノ場合ニ於テハ納本ヲ受ケマシテ然ル後ニ檢閲ヲ致シ、而シテ詮議ヲ遂ゲテ告發ヲ致ス、其モノハ實際ノ發賣頒布ヲ多ク終ッテ居リマスノデゴザイマス、甚ダ取締上法文ノ備ハラザルコトヲ遺憾ト致シテ居ルノデゴザイマス、然ル上ニ更ニ裁判所ニ於テノ判決ヲ待ツテ、發行ノ禁止ヲナシ得ル規定ヲ削除相成リマスルト、益々取締上困難ヲ感ズルノデゴザイマス、固ヨリ發行禁止ヲ裁判所ニ於テ申渡シマスル場合ハ既往ノ例ニ依ルト極メテ嚴重デゴザイマス、或ハ一ケ年ニ一件多クテ數件デゴザイマスノデ、先以テ極端ナル社會主義ノ論說、或ハ極端ニ風俗壞亂ヲ致シタト申ス如キ新聞紙ニシテ、而モ一回ノ刑ノ宣告ニ依リマシテ將來改悛セシムルノ望ミノアリマセヌ場合ニ於テハ、他ノ言葉ヲ以テ言ヒマスレバ其新聞紙ナルモノガ本來風俗壞亂ノ記事ヲ掲ゲルノヲ以テ目的トナシ、又ハ極端ナル社會主義ヲ鼓吹スルヲ以テ目的ト爲シテ居リマスル場合ニ於テ、縱令一回若クハ二回ノ罰ヲ加フルトモ到底改ムル見込モ立チマセヌ場合ニ於テ、裁判所ガ改メテ發行ノ禁止ヲ致シマスルノデゴザイマス、事實此條ヲ適用致シマスルコトハ唯今申上ゲル通り極メテ僅少デアリマスル、即チ斯ノ如キ惡事ヲ以テ目的トナス新聞紙ハ、現今ノ社會ニ於テ甚ダ稀デアリマスルガ故ニ、實際適用ノ場合モ極メテ稀デアリマスルガ、併シ其稀ナルモノニ對シテノ制裁ヲ缺クト申スコトハ取締上甚ダ困ル次第デアリマス、故ニ本項ノ如キハヤハリ將來ニ存置致シテ置カナケレバナリマセヌノデス、或ハ是ハ是非トモ削ルト云フコトニナリマスレバ、何カ之ニ代ハルベキ規定ヲ設ケマセヌト取締リガ附カナイコトニ相成ラウト考ヘマス、尙他ノ條文ニ於テモ意見トシテ申述ベキコトモアリマスノデアリマスガ、唯今舉ゲマシタルコロノ主ナル二ツノ例、即チ豫審ニ關スル事項ノ記載、及裁判所ノ發行禁止命令ニ關係致シマスル條項ノ一ノ如キハ、政府ハ到底御同意致スコトガ出來マセヌ、併シ大體ニ於テハ今回ノ御提案ニハ反對ノ意見ヲ表明致シテ置キマス

○委員長(三土忠造君) 司法省ノ政府委員ノ御意見ハ如何デス

○政府委員(法學博士平沼騏一郎君) 別ニ私ヨリ加ヘテ述ベマスコトハゴザイマセヌノデス、唯今有松政府委員ヨリ申述ベラレタル點ニ依リマシテ本案政府ノ反對致シマスル理由ハ明白デアラウト考ヘテ居リマス、唯今ノコロデ別ニ附加致シテ申シ置クコトハゴザイマセヌ、又各條ニ互ッテノコトデゴザイマスレバ尙所管ノ事柄ニ付テハ御答モ致シマスルガ、又各條審議ニモ相成リマスレバ申述ベタイ點モゴザイマス

○大橋賴煥君 私ハ唯今提出者ノ說明モアリマシタ、又政府ノ之ニ反對スルコロノ意見モ略々伺ヒマシタ、大體ニ此新聞條例ノ改正ト云フコトハ改正スルノ必要ヲ今日認メテ居ルト思ヒマス、併シナガラ此條項ナルモノハ主ニ此記事ノ所謂其紙面ノ記事上ノコトニ重キヲ置イタルガ、此新聞ノ經營ト云フコトノ頭ガ乏シイ、各條項ニ於キマシテモ稍々此届出ノ日數ガドウデアルトカ云フヤウナコトハ是等ノ全體ニ痛痒ヲ感ゼヌノデア

リマス、私ハ此中テ現行法ヲ削除シテシマッタノデアリマス、現行法ノ二十四條ニハ「新聞紙ニ記載シタル事項ニ付キ訴訟ヲ起シタルトキ原告ニ於テ其新聞紙ニ署名シタル編輯人ハ實際主トシテ編輯事務ヲ擔當スル者ニアラズシテ、他ニ主任編輯人アルコトヲ證明シタル場合ニ於テハ裁判所ハ其署名シタル編輯人及實際ノ主任編輯人ヲシテ共ニ其責ニ當ラシムヘシ」ト斯ウ書イタル、之ヲ全然削除シタガ是ハ甚ダ主筆經營者カラ申シタラバ、主筆記者或ハ實際ノ書ク方カラハ此條項ハ削除シタ方ガ宜シイケレドモ、之ヲ新聞經營者ノ頭カラハ此條項ニ存シテ置キタイ、若シ唯其署名人ダケ罰スルト云フコトニナルト、サウ云フコトハ是ハ新聞社ノ内輪ノコトヲ言フヤウデ惡ルイケレドモ、記者ガ責任ヲ有タズシテ遂ニ勝手ナコトヲ筆ヲ走ラシテ書イテ居シテモ、此事實ニ於テハ署名人ガ其責ヲ負フテ居ルケレドモ、其場合ニ依テハ故意ニ自分ガ筆ヲ走ラシタモノハ自分モ責任ガアルト云フコトニシテ置カナイト云フト非常ナコトヲ來スコトガアル、之ヲ削ルト云フコトハ其ニ二項モ三項モ削ルト云フコトハ、ドウモ私ハ同意ガ出來ナイ、ソレカラ大体ニ於テ罰金刑ヲ現在ノ通りニシテアルケレドモ、モット罰金刑ハ下ゲテ宜シイ、事實斯ノ如キ高イコトハシテ居ラヌノデアル、署名人ニ於テ今此提出ニナッテ居ルノハ現行ノ第二十九條ノ如キハ「二月以上六ヶ月以下ノ禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス」ト云フコトガアル、是等ノ如キモ罰金刑デアル、是モ改正シナケレバナラヌ問題デアルト、斯様ニ私ハ此署名人ト云フモノハ現在ノ今日ノ狀況ニ照シテ新聞ノ經營上ニ照シテ、モソツト是ハ現在ニ近イモノニ改正ヲ加ヘタイト思ヒマス、私ハ五名位ノ特別委員ヲ舉ゲテ此條項ニ付テ改正シタイ保證金ノ如キモ雜誌ノ如キニ違ッテ居ル、又或ル場合ニハ舛刑ヲ廢シテ罰金刑デモ宜シイ、ソレカラ政府ノ御心配ニナル豫審ノ問題、之ヲ絕對ニ削除シナイデモ現在豫審ニ關係スル事デモ書イテ差支ナイコトモアリマセウ、事實今日書イテ居ル、東京ノ如キ或ル椿事が起ッタ時ニハ之モ政府ノ同意ノ出來ルマデニ書ケバ宜イ、成程豫審ノ進行ノ模様ヲドシノ書ケバ或ハ犯罪ノ搜查ヲ未ダ刑事探偵ガヤライナ中ニ既ニ犯罪人ヲ通シシテシマフコトモアルカラ、ソレデモ或ル程度マデ書ク、或ル程度マデハ政府モ同意シテモ宜イダラウト思フ、又新聞社デモ現在ヤッテ居ルノデアルカラ、斯ウ云フ事柄モ事情ニ遠カラズ實際ノ上ニ於テ差支ナイヤウニ條目ヲシタイ、マア私ハ各種ノ修正ガアルガ、ドウカ是ハ特別委員五名ヲ舉ゲタイ、先刻モ問ヘバソレハ誠ニ錯誤デアッタカ云フヤウナコトデ甚ダ失禮ナ申分デアルケレドモ、記者ト云フコトニ重キヲ置イテ經營ト云フコトガ取レテ居ルノデアルカラ、是ハモウ少シ修正スルコトニ致シタイ、大体今日改正スル必要ハ認メテ居リ、又政府モ認メテ居ラレバ左様致シタイト云フ發議ヲ致シマス

○村松恆一郎君 我モ特別委員ヲ置カレルコトニハ反對デアリマセウガ、其前ニチヨツト政府委員ニ御尋シテ置キタイ、即チ現行法ニアル所ノ豫審ニ關スル事項ノ解釋ハ、政府委員ハドウ云フ風ニ御解釋ニナッテ居ルカ、ヤハリ豫審ニ關スル事柄ヲ書イテモ悉ク現行法ノ規定ニ依ル御解釋カ、從來ノ慣例ノ如ク豫審ノ内容ニ關シナイ事ヲ記者ガ聞得タコトヲ書クノハ差支ナイト云フノカ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(法學博士平沼騏一郎君) 十六條ノ解釋ニ付キマシテハ現今大審院判例モアルマス、最高ノ裁判ニ於テ是マデ探ッテ居リマスル解釋ハ略々定マッテ居リマスルヤウデアリマス、ツマリ法律ノ解釋ノ事ハ裁判所即チ至高裁判所ノ判例ニ依ルト云フコト

ガ最モ相當ナコトデアアルノデアリマス、併ナガラ此十六條ノ解釋ニ付キマシテ果シテ大審院ノ判例ガ宜イカドウカト云フコトニ付テハ是マデ疑モ持ッテ居ッタデアリマス、現今御承知ノ通り事件モ繼續ヲ致シテ居リマスル次第デ、此事件ノ裁判ガ濟ミマスレバ此解釋ニ付テハ裁判所ノ判例モ定マルコトニナラウト思ヒマス、只今司法當局ノ解シテ居リマスル所デハ是ハ寧ろ廣ク解スル方ニ考ヘテ居リマス、其譯ハ裁判即チ豫審ノ進行上證據ノ蒐集ニ付キマシテ新聞ノ記事ノタメニ妨害ヲ受ケルト云フコトヲ慮ッテ十六條ハ出來テ居ル條項デ主トシテ其事ガ理由トナッテ居ルノデアリマス、此理由ヨリ解釋ヲ致シテ寧ろ廣ク解スル方ヲ至當ト信ジテ居ルノデアリマス、併ナガラ其法文ノ解釋ニ付キマシテハ勿論裁判所ノ判例ニ據ラナケレバナラヌコトデアリマス、今日確定致シテドウ云フ解釋ガ至當デアルト云フコトニ付テハ御答ハ出來マセデアリマス、併シ之ヲドウ解スルカ至當デアルカト云フコトニ付テハ考デアリマスレバ先刻申述ベマシタ通りト御承知ヲ願ヒタイ

○山田珠一君 政府委員ニチヨツト伺ヒマス、現行法ノ十五條ソレカラ改正案ノ十六條デアリマス、新聞紙ニ記載シタル事項ニ付テ裁判ヲ受ケタルトキハ其ノ次回ノ發行ニ於テ宣告ノ全文ヲ掲載スル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、實際ノ有様カラ考ヘマス、例ヘバ風俗壞亂ノ記事ノ如キヲ裁判サレテ宣告ヲ受ケル、スルト或ル裁判官ハ其事柄ヲ寬大ニ確定シテ別々社會ノ害ト見ルコトガアル、或裁判官ハ例ヘバ記事ノ全文ヲ掲載シテ仕舞ニ判決ノ主文ヲ書クト云フコトガアル、爲メニ風俗壞亂ノ記事ガ二度モ社會ニ曝ラサレテ宣告ノタメニ却テ社會ノ害ニナルコトガ往々アル、斯フ云フ弊害ヲ或點カラ考ヘマシタナラバ、寧ろ宣告ノ全文ナルモノハ掲載サレナイ方が社會ノタメニナルカト思ヒマス、社會ノタメニ考ヘテモサウデアルガ、又新聞社ノ立場カラ申シマス、既ニ裁判ニ於テ宣告ヲ受ケテ處罰サレタ外ニ、更ニ又新聞ノ上デ耻ヲ曝ラサナケレバナラヌ、又謂ハニ二重ノ苦痛ヲ受ケナケレバナラヌ、裁判ノ結果ト云フノガ既ニ一ツノ懲罰デアルガ、更ニ又新聞ニ掲載スルト云フコトガ一ツノ懲罰ノヤウニナッテ居ル、是ハ新聞ノ立場カラ私ノ苦情デアルカモ知レヌガ、兎ニ角新聞社ニ取ッテハ一ツノ苦シイ懲罰デアル、此等ハ寧ろ廢シテハ宜クハナイカト考ヘマス、政府デハ此條文ニ付テハ如何ナル御考ヲ有ッテ居ルカ、參考ノタメニ聞イテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(有松英義君) 只今御尋ノ件ニ付キマシテハ、從來ノ經驗上政府ニ於テモ多少御同感ノ考モアリマス、改正ノ序ヲ以テ或ハ適當ノ箇條ニナルトカ致シマス方ガ寧ろ現行法ヨリハ優ルヤウニナルカモ知レヌト考ヘマス、御意見ニ付キマシテハ尙篤ト勸考致シテ置キマス

○村松恆一郎君 先刻大橋君ヨリ特別委員ヲ置クト云フ御意見ガ出マシタガ、私ハ是ニ付テ異議ハナイノデアリマシテ唯ソレニ申上ゲテ置キタイノハ最初ニ述ベマシタ如ク之ハ極ク最少限ノ改正ヲ致シタノデアリマシテ、若シ理想的ニ申セバマダイロ、改正ヲシタイ點モ澤山アルノデアリマスガ、先刻申上ゲマシタ如ク餘リ澤山ノ改正ヲシタガ爲メニ折角立派ナモノガ出來上ッテモ、却テ通過シナイト云フヤウナコトニナッテモ遺憾デアルト思ヒマシテ、成ルベク是認サレル程度ニシタノデスガ、若シ特別委員ヲ御設ケニナッテ完全ニ吾等ノ理想通りノモノガ出來マシテ、而モソレガ通過スル望ミガアルト云フコトナレバ私ニ

於テモ決シテ異議ハナイノデアリマス、其點ダケ申上ゲテ置キマス

○委員長(三土忠造君) 唯今大橋君カラ特別委員ヲ置イテ、ソレニ付託シテ調査ヲ致シタイト云フ御發議ガアリマスガ、ソレニ賛成ガアリマスルヤウデスガ(贊成)ト呼フ者アリ)尙伺ッテ置キタイノハ、調査委員ヲ選定シテ調査スル前ニ政府委員若ハ提出者ニ對シテ質問シタイコトハアリマセヌカ、御質問ノアル方ハ御質問ヲナスッテ……

○大橋顯模君 私ハ此提出者ニ伺ヒタイノデスガ、此第六條ノ改正ヲシテ五十日ノモノヲ六ヶ月ト致シマシタ御趣意ハ何處ニアリマスカ

○村松恆一郎君 ソレハ先刻説明致シタ積リデアリマスガ、或ハ御聽落シナリマシタカモ知レマセヌガ、此發行ノ届出ヲシナガラ、或ハ發行ヲ休ンデ居ルトカ、或ハ發行中ノモノガ休刊シタトカ云フ場合ハ必ズ社内ノ整理ヲスルトカ何トカ云フ事情ガアル場合ニ限ルノデス、サウ云フ場合ニハ現行ノ法ノ五十日デアルトシテ、其五十日經テバ又印刷ヲシテ納本ヲシナケレバナラヌガ、而カモソレハ新發刊ヲスルト云フヤウナコトデナイノニ、サウ云フ手續ヲスルノハ徒ラニ煩雜ノ手續ヲ讓スニ過ギナイカラ、ソレデハ六ヶ月トシタノデアリマス

○山田珠一君 提出者ニ御尋シマスガ、此二十三條ニ「裁判確定ノ日ヨリ一週日以内ニ裁判費用及罰金ヲ完納セス又ハ損害ヲ賠償セサルトキハ先ツ保證金ヲ以テ之ニ充ツヘシ」ト斯ウアリマスガ、是ハ現行法ヲ少シバカリ修正ヲシタモノデ、先ツ保證金ヲ以テ充テテ、サウシテ足ラヌ場合ニハドウスルノデスカ

○村松恆一郎君 是ハ現行法ニモ足ラザル云々ト云フコトガアリマスケレドモ、是ハ刑法トノ關係上削リマシタノデ、若シ足ラザル場合ニハ民法上ノ規定デ追徴スルコトガ出來ルト信ジマス

○山際敬雄君 特別調査委員ハ定マッタノデスカ、私ハ之ニ對シテ希望ヲ述ベテ置キタイノデスカ……

○委員長(三土忠造君) マダ定ッテ居ラヌノデス、御質問ハアリマセヌカ

○山田珠一君 提出者ニモウ一ツ御伺ヒシタイノデスカ、此現行法ノ二十五條之ヲ削除ニナリマシタノハドウ云フ理由デスカ能ク分リマセヌガ

○村松恆一郎君 是レハ今度ノ刑法ノ改正ノ結果トシテ數罪俱發トカ、再犯加重トカ云フコトハ、名目モ變ハリ性質モ更ッテ居リマシテ、是ハ削除シテモ刑法ノ法例ニ據レバ差支ナイト思ヒマスカラ、削ッタノデアリマス

○山田珠一君 新刑法ニ讓ッテ……

○村松恆一郎君 サウデス

○委員長(三土忠造君) チョット御諮リスルコトガアリマス、マダ質問ガアルカモ知レマセヌガ、唯今大橋君カラノ調査委員ヲ置クト云フコトニ今回同意致シマシテ、ソレガ決定シテ後尙必要ガアレバ質問ヲ續ケルト斯ウ云フコトニシテハ如何デス、御異議ガナケレバサウ云フコトニシテ——唯今ノ大橋君ノ動議ハ如何デスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(三土忠造君) 御異議ガナケレバ調査委員ヲ設ケルコトニ決シマス

(「委員長指名」ト呼フ者アリ)

○委員長(三土忠造君) 委員長指名デスカ、ソレデハ指名致シマス、ソレデハ大橋君、高久君、富田君、村松君、鈴木君、此御方ニ調査ヲ願ヒマス

○鈴木力君 委員長ニチョット申上ゲテ置キマスガ、村松君ト私ハ聯合デ提出シタヤウナ譯デアリマスカラ、同多立場ニ居リマスカラ成ルベク意見ヲ交換スルニハ外ノ方ガ宜シイト思ヒマス

(「却テ宜イデセウ」ト呼フ者アリ)

○山際敬雄君 既ニ特別委員モ定メラレマシタカラ、私ハ特別委員ノ方ニ調査方法ニ付テ希望シテ置キタイト思ヒマス、新聞紙條例ノ原則トシテハ一切ノ條項ニ於テ体刑ト云フモノヲ削除シテ載キタイ、ソレデ罰金ト云フモノハモウ少シ高イ範圍内ニ置イテ宜シイガ、一切ノ体刑ト云フモノハ新聞紙條例中ノ逐條ニ少シモナイト云フコトニシテ載キタイト思ヒマス、若シ二十九條ノ如キ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ、若クハ治安ヲ妨害スルト云フヤウナ甚シキモノ、アル時ハ、新聞紙條例ニ掲ゲナクテモ刑法ノ制裁ニ依ッテ体刑ヲ科スルコトガ出來マスカラ、此新聞紙條例ニ於テハ一切ノ体刑ガナイコトニシテ御調査ヲシテ載キタイト思ヒマス

○委員長(三土忠造君) ソレデハ調査委員ノ御方ハ御協議ノ上デ日ヲ定メテ戴キタイ、成ルタケ早クヤッテ戴キタイノデス、今日ハ是デ散會致シマス

午後二時三十七分散會